

授業改善に向けた3つの視点のさらなる質的向上を

28.11.10 下都賀教育事務所学校支援課

全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査の結果から確認された課題を踏まえ、授業改善に向けた取組をさらに充実させましょう。

今後発刊される栃木県教育委員会の学力向上関連のリーフレットと併せて活用していただき、日々の授業改善にお役立てください。

視点1 授業の目標(めあて・ねらい)を子どもたちに示すこと

- 授業の目標(めあて・ねらい)を示すことはもちろんですが、目標達成のために「**やってみたい**」「**解いてみたい**」と思えるような意欲を高める**学習課題**を考えましょう。

やってみたい!



- 全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査の問題から、**今求められている学力を確認**しましょう。(基礎・基本の捉えの見直しや、課題を発展させる取組の意識が大切です。)

問題の中の条件を変えるとどうなるのかな?



視点2 授業を振り返る活動を行うこと

- **まとめは児童生徒の言葉を生かして**まとめましょう。また、**振り返りはめあてに即して振り返る**ことはもちろん、**何が分かったのか等の振り返る視点**を示すなど発達段階に応じて工夫しましょう。(認め励ますような声かけやコメントを書くことを心がけましょう。)

今日勉強して分かったことは?



- **定期的に学んだことを活用する場を設定し**、日常生活や他教科等との関連を図り、**学習内容を定着**させる工夫をしましょう。(適切な場面で活用し、関連性を意識させましょう。)

前に似たような学習しなかったかな?



視点3 どの子にも自分の考えを書く習慣を付けさせること

- 自分の考えを書くために、**児童生徒の既習事項や既習経験が生かせるような学習活動**、**多様な考えから新しい視点や合理的・論理的な思考に気付**き生かせるような**学習活動を計画**しましょう。(解決への糸口となる見通しの交流や関連資料、既習事項をまとめた掲示物等の確認、ペアやグループでの相談等の実践を取り入れましょう。)

なるほど、そんな考えがあるのか!



- ノートが教員の説明や板書の複写ではなく、**自分の言葉で思考を整理し**、**思考の過程を理解するためのもの**になるようにしましょう。(主体的に自分の考えを書くことができるような工夫)

始めにこうして、次にこうやるのかな!



<最後に>

- ◇ 「ねらいを示す・振り返る活動」と「書く活動」の学習場面の質的向上を図り、とちぎの子どもたちの確かな学力の向上に向けて、より効果的な学習活動を展開しましょう!